

# 水・物質循環解析ソフトウェア共通プラットフォーム（CommonMP Ver1.0）のリリース



河川研究部 河川研究室 主任研究官 菊森 佳幹 河川研究室長 服部 敦 河川研究部長 山本 聡

（キーワード） 水理水文解析、ソフトウェア、コンソーシアム

## 1. はじめに

河川研究部では、平成19年度より水理水文解析モデルの汎用的なプラットフォーム（CommonMP）を開発するプロジェクトを実施している。CommonMP（Common Modeling Platform for water-material circulation analysis）とは、河川流域の水・物資循環を解析するため複数の水理水文解析モデル（河道や流出モデル等）を連結して稼働させることのできる解析モデルのプラットフォームである。平成22年3月にはCommonMP Ver1.0をリリースしたので、報告する。

## 2. CommonMPの活用状況

CommonMPは、水理水文解析モデルに関する研究開発を促進させることや河川技術者が自ら用いることにより技術力を向上させ、河川管理を高度化させることを目的としている。現在のCommonMP開発プロジェクトでは、地方整備局と建設コンサルタンツ協会

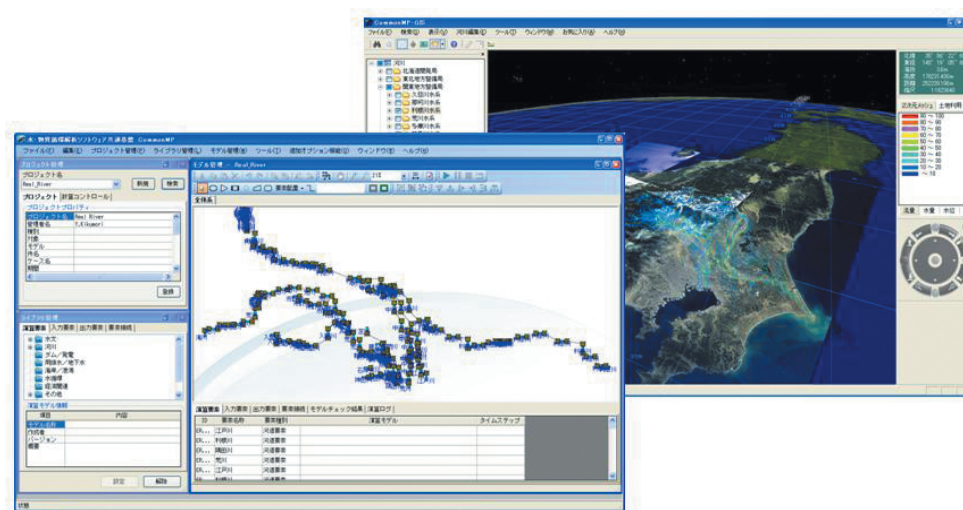
が連携して、普及のための講習会を実施しているほか、地方整備局ではCommonMP用の解析モデルの開発を行うとともに、各河川流域のシミュレーションを実施し始めている。なお、講習会等で使用した資料はHPに掲載しているので、適宜参照されたい。大学関連では講義等で用いるため、CommonMPの利用やCommonMP用の解析モデル開発に関する書籍（※1）を作成しているところであり、平成23年3月には出版される予定である。

## 3. 今後の取り組み

CommonMP開発プロジェクトでは、平成21年7月に河川分野や下水道分野の産官学からなるコンソーシアムを結成した。今後は、コンソーシアムを核とした開発や普及を推進していく予定である。

### 【参考】

※1：椎葉充晴・立川康人編：CommonMP 入門  
CommonMP HP: <http://framework.nilim.go.jp>



CommonMP画面イメージ